



アジサイロード下での海岸清掃の様子



盛り上がった文化交流会

日韓協力で漂着ゴミ回収

韓国の釜山外国語大学の学生ら126名が6月24日に来島し、25日と26日の2日間、市民ボランティアと協力して上県町の西海岸清掃作業を行いました。

この事業は平成15年から3カ年計画で日韓合同の清掃活動を行っているもので、事業開始時に比べると、現在では漂着ゴミの量は大幅に減っており、この事業の成果をはっきりと確認できるほどになりました。

しかし、清掃前の海岸には依然としてプラスチック容器や発泡スチロール、流木などさまざまなゴミが打ち上げられていて、延べ850名（韓国学生126名、一般協力者724名）が参加した2日間の作業で、650立方メートル（4トントラック60台分）もの漂着ゴミを回収しました。

また、この清掃作業のほかにも、グラウンドゴルフでのスポーツ交流や、両国の伝統芸能や料理などで文化交流も行いました。

6月29日、厳原海上保安部による海洋環境・海洋安全教室が鶏鳴幼稚園で行なわれました。

きれいな海を守ろう！

この日は、海のゴミをテーマにした紙芝居や、ライフジャケットの体験着用が行なわれるなど、参加した園児たちは、海の安全や環境問題について楽しく学びました。

教室終了後は、海上保安庁のマスコット「うみまる君」が登場し、園児たちと記念撮影をしました。



うみまる君は大人気



ライフジャケットを着てごきげん